

令和 6 年度 市長記者会見 発言要旨

令和 6 年 11 月 25 日(月)開催分

< 開催時間 > 14:00~14:30

< 会 場 > 庁議室(市役所本館3階)

< 会見案件 > 12 月補正予算案の概要
FUKUI PR-CARAVAN in TAIPEI の開催

< 出 席 者 > 市長、総務部長、財政部長、市長公室長、財政課長、こども政策課長、こども育成課長、商工振興課長、観光振興課長、地域交通課長、農政企画課長、国際室長

< 質疑応答 >

【記者】

児童館のプレイルームにエアコンが設置されることについて。2022 年に冷風扇が整備されましたが、改めてエアコンを設置する理由について教えてください。

【市長】

夏期に児童館を利用する子供たちが増えますが、以前は暑い日は他の部屋の空調を利用して対応していました。しかし、プレイルームにも快適に遊べる環境を提供したいと考え、エアコンの設置を決定しました。今回、23 館のうち 5 年間で空調整備を進め、まずは 3 館に着手し、来年の夏に間に合うように設置を完了させる予定です。

【記者】

利用状況について。たとえば、今年の夏ではプールが暑さ指数によって開けない日があったと聞いていますが、利用できる日の基準などは決まっているのでしょうか。

【市長】

運用方法の詳細がまだ決まっていないため、正確にはお答えできません。運用には一定の基準が必要と考えていますので、今後詳細が決まり次第お知らせします。

【記者】

北陸新幹線の福井開業から 1 年が経過し、にぎわい効果に関連した予算も計上されているとのことですが、市長はこの 1 年間でどのように振り返っていらっしゃいますか。

【市長】

新幹線開業後、駅周辺は日常的に多くの人々で賑わう光景が見られるようになりました。以前は人の数が少なかったのですが、開業以降、驚くほどの人々が訪れ、今ではそれが日常的な光景になっています。数字としても、来福者が増加しており、このにぎわいは新幹線開業をきっかけに生まれたものだ実感しています。

また、今回の施策で再度このにぎわいを推進し、1周年のお祝いとして、県外からのお客様を呼び込み、福井の魅力を広く発信していきたいと考えています。このような取り組みを通じて、さらに多くの人々に福井を訪れてもらえるよう努力していきます。

【記者】

プレミアム商品券に関して、現在、5000円で6000円分のプレミアムがつく商品券の発行について、20%のプレミアムがつけられることはすでに決まっているという理解でよろしいでしょうか。

【市長】

まだ決定はしていませんが、これから予算化し事業を進めていく予定です。

【記者】

まちづくり福井や市の観光協会などが発行するクーポンや商品券は基本的に、20%のプレミアムがついた5000円の商品券という理解で良いのでしょうか。

【市長】

5000円を購入することで、1000円分がプレミアムとして加算され、実質6000円分の買い物ができるという形になります。こうした形で商品券が流通し、消費の促進につながることを目指しています。

【記者】

割合が20%で決まったという理解でよいでしょうか。

【市長】

現場の担当者からはまだ調整が必要だということもあるようですが、基本的には20%で進める方向です。

【商工振興課長】

今回は、去年の9月補正予算時と同じプレミアム率で予算を組みました。基本的には市長が言った通りの方向で進めていきますが、パーセントについては今後さらに話し合いを行い、最終的に決定します。

【記者】

台湾をトップセールスのターゲットとして選ばれた理由について、いくつかの要素を挙げられています。まず、小松からの直行便があること、次に LDH 台湾が存在すること、そして東南アジアからの団体旅行が多いことが挙げられました。これらの要素が台湾を選んだ背景だと理解して良いでしょうか。

【市長】

はい、その３点は重要な要素です。さらに、台湾の方々是非常に海外旅行に積極的で、９割の方が一度きりではなく、何度も海外に行かれると聞いています。直行便があることもあり、台湾からの訪日客の効果が期待できるのではないかと考えています。

【記者】

明日から台北に出発されるということですが、その意気込みをお聞かせください。

【市長】

食文化などが重要な要素であり、じわじわと効果が現れるのではないかと考えています。台湾の旅行会社の方々に動画や画像を通じて、福井の魅力をしっかり伝え、福井を含めた日本への旅行商品を作ってもらえるような働きかけをしたいと考えています。時間は限られていますが、この機会に、３つの旅行会社をターゲットにして、しっかりとアプローチをしていきたいと思っています。